

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を实践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームおだやか高槻松が丘
(ユニット名)	Aユニット
所在地 (県・市町村名)	大阪府高槻市松が丘1-9-3
記入者名 (管理者)	中村すみ江
記入日	平成 20 年 6 月 1 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームという特徴を生かして作りあげている	ホームの理念は*ひとりひとりの生活を大切にする* 地域の方々との共存を大切にする
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	取り組んでいる。 人格の尊重。そのひとらしい生活を大切にする。地域の方々との共存を大切にする。	ご本人の希望を把握し、それを大切にしながら日々の生活作りを援助する
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	取り組んでいる 家族交流会、地域推進会議(2~3ヶ月に1度)	入居者のj方々の顔、スタッフの顔を覚えてもらう為にも近所の商店で買物や散歩中の会話等を積極的に取り組んでいる
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	努めている 毎日の散歩、町内の催物(溝掃除・避難訓練等)に参加。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・敬老会や催物に参加 ・地域の避難訓練に参加 ・溝掃除参加等を通して交流に努めている	○ 今後は学童の登下校時の見守りへの参加を考えたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	考え、実行しているのは、バザー・フリーマーケットの場所提供	○	高齢者の多い地域であるので意識はあるが具体案なし
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	取り組んでいる。 特に外部評価時ご家族からの要望が伝わる		昨年の改善点は ・入居者と一緒に食事する ・健康管理状況の開示
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活かしている。 市の相談員1ヶ月1回2名の訪問を受け入れ、相談や意見交換を行っている		統合失調症・うつ病等の精神の病気の人が大半を占める2階の活性化について相談し、助言を得ている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	回復力が目覚しく、自立した生活が良いと思われる入居者様のケアハウスへの移転について相談し、実現することになった。		不可能かと思われていたケアハウスへの移転を相談(市への)の結果、助言を頂き、実現可能とさせて頂いた
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市の研修には出席しているが、今の所必要ある人が出ていないので、積極的取り組みがない	○	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	努めている。 特に夜勤は1フロア1名のスタッフになるので、相性の良くないスタッフと入居者様が一緒にならないよう配慮する		スタッフ同士相手を責めるのではなく、理解し認め合う事に努め、虐待にならない様注意を払っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>行っている。 特に退所になる原因や入退院の期限等説明し理解と納得を得られるよう図っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段はご家族の不満苦情の声を聞くことがほとんどないので、外部評価のアンケートの回答や意見を参考にして運営に反映させている</p>	<p>入居者様の意見は日々フロアの中でいつでも言えるような雰囲気作りを意識している。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>報告している 毎月各御家族へお手紙や小遣いの出納報告をしている</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>おだやか通信に各月の入居者様の様子を報告(行事や健康状態・入居者様の日記等)</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>反映させている。 必要時にケアカンファレンスを行い、スタッフの意見を聞いている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>努めている。 必要時は必ず確保している</p>	<p>行事がある時、急に事故が起きた時などすぐに手配する。 また今いるスタッフに時間延長や早出など依頼している</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>配慮しているが、どうしても入居者様の好みや拒否反応の強さに合わせて移動してもらうことがある。特に夜勤帯は相性の問題が大きく影響するので、また異性問題もあるので。</p>	<p>移動しても入居者様に大きなダメージは見られない</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	進めている	○ 研修に積極的に参加出来るように案内し、交通費や賃金も出るようにしてあるが、段階に応じての育成とまでは言えない
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		○ 地域推進会議に出席して頂けただけで、相互訪問の活動はしていない
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者は、スタッフが強度のストレスを長く感じないよう工夫や環境作り(福祉用具利用など)に配慮している	○ ストレスを軽減する為の工夫は現場責任者に一任している
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		○ 取り組んでいるとまで言えないが、向上心を持って働けるようにの動きは感じられる
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	受けとめる努力はしているが、試行錯誤が続いている。今は良くて次は駄目だったりと手を換え品を換えての対応をしている	精神疾患を持った利用者は何故怒り出すのか？その原因を色々探り、考えられる事を実行に移している。が他の入居者への迷惑も考える必要がある
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	努力はしている。が、ホームで可能な事とそうでない事の見極めは必要である。ホームで無理だと思われる事には早めの対応を考える必要があるのでは・・・。	他の入居者様への影響・ストレス、スタッフへのストレス等も考える必要があるので、家族様の訴えに即答えられない時もある

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めている。必要があれば、入居前の病院や施設と連携を取り、本人の安定を考えた対応を心掛けている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	工夫している。 ご本人が納得されるまでご自分のペースで生活してもらい、徐々にホームが安心できる場所であることを感じて頂く		見学だけに来られた方でもフロアの入居者の皆さんにご紹介し、和んで頂けるようにしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	小さな事でも「仕事」を一緒に見つけるようにしている。刻み物や洗い物の外に日めくり担当、食事メニューの清書担当、たまねぎの皮むき、もやしのひげ取り、テーブル拭きなどがある		食器洗いはずっと他人任せの男性がいるが、おやつのお皿とカップは洗ってもらうよう声かけし、少しずつ回数が増えている。洗濯物も声かけすると、丁寧にたたんで片付けておられる。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族様の協力なしでは、十分なケアは出来ない」と思っている	○	本人を大切に感じる事が出来ないご家族、家族のいない方、家族音信不通の方もいて、家族の協力を得られない方も数名ある
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	支援できている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めている。 信仰がある人には、ホームに来て本人と話してもらったり、会合や選挙にも連れて行ってもらったりしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	努めている 相性の良い人同士の席決めであったり、本人の希望による位置・場所決めをしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・ずっとではないが必要時まで、そうしている。 ・顔を合わせると死去されたあとでも会話をかわす		先日すぐ近くの別の場所に移られた方がるので、好きな曲でCDを作ってお訪ねしたいと思っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの重いや暮らし方の希望を、直接聞いたり、話されている事等で把握に努めている。 困難な場合は本人の会話や行動の中から思いや暮らし方の希望・意向の把握に努め、人間の尊厳を守る		本人のおしゃる事を受容し、ていねいな言葉姿勢で接している
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの言葉・会話・行動や動作から生活歴やなじみの暮らし方生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め、その方らしい生活を支援していく		手芸やレクリエーション等その方のしたい事をして頂いている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の過ごし方は、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努め、その方に合った毎日をご過ごしていけるよう支援している		一日一日、その方に合ったように過ごして頂いている。朝食も起きた方から召し上がっている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族・必要な関係者と話し合い、それぞれの意見や工夫していること、又その方のしたい事や好きな事、困っておられる事などを反映して介護計画を作成している		ケアカンファレンス・サービス担当者会議等行い、家族との連携に努めている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人・家族・必要な関係者と話し合い、主治医の受診や訪問看護を受けて職員による介護の対応をし、毎月モニタリングを行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践記録に記入し、連絡ノートにその都度ホーム長・職員が記入していき、情報を共有しながら実践やかいご計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて柔軟に対応をし、本人家族双方が安心して生活出来るように支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性に応じて民生委員やボランティアに来ていただき、地域と協力しながら支援している。又毎日の散歩時などはこちらから挨拶を心がけ、なじみになって頂き支援している。消防訓練、地域の非難訓練に参加している。	○	警察、教育機関と協力しながら支援していく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームなので、たの事業所のサービスを受ける事は出来ないが、地域の介護支援専門員高槻島本支部に参加し、ケアマネージャーやた事業所と話し合い支援している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について地域包括支援センターと協働している		2ヶ月に1度の民生委員・地域包括センター・家族と推進委員会をしている
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医の往診を月に2回行い、訪問看護師による訪問看護を月4回行い、体調不調時には外来受診や訪問看護を受けて適切な医療を受けられるように支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>定期的な診療や治療の他に状態に応じて随時診療や治療を受けている</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>訪問看護師による訪問看護が毎週あり、利用者の状態により随時訪問看護を受けている</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>家族との情報交換や相談に努め入院時安心して過ごせ、早期に退院できるよう努めている</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>重度化する可能性のある方とは重度化する前から、かかりつけ医又病院の診察を受け家族にも伝え、方針を共有している</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>本人がグループホームから別の場所に移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で何度も情報交換を行い、本人と一緒に何度か見学し、家族にも見学や話し合いを持って頂き納得して頂けるようしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人名が記されている目メモ・介護記録などは、放置したままにせず、記録後は収納している。排便等デリケートな質間は特に配慮する	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	いつでも話を聞ける状態を作り、一緒に考え、納得して頂けるようにする	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おしつけではなく、自ら発信できる雰囲気を作り、その日に来る事出来ない事を話し合い納得して頂く	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホーム内に美容師を招き、個人の希望に合わせる様に努めている	本人の望む店に行くことは難しい(ボランティアさん・家族さんの協力が必要)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の仕分け、食事の支度・片付けまで、毎日の大切な仕事であり楽しみだと考えている。 一人ひとりの出来る事をスタッフが把握するよう努めている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	病気での制限がない方には、おやつ、酒・ビール、タバコなど楽しんで頂いている	おやつに関しては、ホームから入居者様に提供する物以外は、各居室にて食べて頂くようにしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	2～3時間毎のトイレ誘導を繰り返しながら、自立へとつなげていく。個々の排泄パターンの把握		夜間帯の排泄については、日勤と夜勤のケアカンファを繰り返し 対応している(個別に)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日や時間帯は決めているがそれ以外でも希望や必要に応じて、素早く対応している	○	集団生活の為、入浴時間、順番等一人ひとりの希望は難しいが、。良いタイミングで誘導し気持ち良く入浴出来るよう気を配る
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室にての休息は妨げない 昼食後1時間程休息時間としている	○	翌朝の気温に応じたエアコン調節をスタッフ全員に促したい
に応じた				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意な事やりたい事の把握 毎日の仕事を見つける		座ったまま何もしたくない様に見える方も、ふきんを渡してお願いしてみると、段々と立ち上がりテーブル全体をきれいにされる
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を個人で持っている安心感と使える喜びの理解はしている 買物は自由に出来る様支援している		スーパーとコンビニがすぐ近くにあるので好きなお菓子を買いに行ける。 商店街のパン屋さん果物屋さんとも朝の挨拶でなじんでいる
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩(個々の外出は出来る限り支援している)		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域の行事、外食等 毎月1回以上の外出の実施		1番人気は回転寿司のようだ。 今年5月と9月が外食月 11月にも近くの施設の祭りに参加してわたあめ、焼きそばなど屋台も楽しむ予定

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方には、家族への電話や手紙は支援している		受け取る家族の状態も充分配慮している
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会はいつでも歓迎している。 居室にてゆっくり過ごして頂く		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に「身体拘束とは？」スタッフ間での話し合いがある		危険防止が身体拘束につながる時がある。スタッフでの話し合いを充分にする。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関やベランダ等の鍵をかけることは、ほとんどないが、スタッフの人数が少ない時は玄関にみ鍵をかけている		統合失調症の方が、興奮状態の時は、施錠せざるを得ない時間帯もある。が短い時間で、ほとんど風を入れるため開けている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常時、フロアにて見守り体勢あり		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	誤飲の恐れある物、不安定な物をての届く所に置かない		入居者の状況により危険と判断した時は、随時対策を考えていく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	消防署主催の救命講習会の受講を義務付け、事故防止のためのカンファレンスの実施	○	一人ひとりの事故防止対策をスタッフ全員が把握できる様にケアカンファレンスを開く。まだスタッフ全員が理解しているとは言えない

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習会の参加・避難訓練等ホーム内で実施		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣の方への声かけ等は、毎日の散歩・買物でアピールしている	○	入居者の方々と共に、昼夜問わずの避難方法を考える
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こりうるリスクについては、電話や面談等で話している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	介護記録等により、介護者が交代しても対応出来るようしている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に精神の薬の方には必ず服薬してもらって、少しでも不穏を防ぐようにしている。 症状の変化の確認に努めている	○	副作用についてまでは頭に入っていない。 薬の数は覚えるようにして、誤薬を防ぐ一つの目安にしている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のリズムの大切さ、日常生活への影響は充分理解し、把握に努めている		食事後のトイレの声かけは有効に思う。意識的に存分に長く座って頂く様にしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	「肺炎予防しましょう」と声かけ誘導している。「なんで」と言う方とは手をつないで行く。声かけのみでよい方もある。		他の用事に追われて、昼食後の声かけが出来ない日もあるが、夕食後を徹底させることにしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者による管理栄養士の献立により、食材を購入して毎日の食事作りをしていて、カロリー計算・栄養バランスは確保 水分量は1日1500mlを目安に取り、不足しないよう努めている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種。日々は空気の流通に注意し、部屋の窓は必ず開ける。外出時・食事前後の手洗い励行 シーツは週1回クリーニング。布団類は天火干し		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日業者に配達してもらっている。 食べ残しは処分。食材には必ず火を通してのいる。 まな板、包丁、布巾の消毒を心掛けている。 食器乾燥機使用		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、四季の草花を楽しめるようしている。 すぐ道路には出れないように囲いに工夫を凝らしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1階は庭がリビングに面しているのので、四季の草花や野菜を作り、緑の多い空間を作っている。 夏はよしずやすだれを使用して強い日差しを防いでいる。又冬は日光を多く取り入れる様に工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに畳コーナーがあり、椅子から降りて座ることにより、落ち着きや安心感を感じられるようしている。又丸テーブルを使用することにより気軽に利用者同士お話出来る空間作りをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は、ベッド以外はご本人の持ち込みの為、個性的な居室である。		居室の整理等が、困難な方は、ご本人と共にスタッフが介助することあり
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中は、必ず風が入るように、玄関・窓を開け換気に努めている (1年中)		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・フロア・トイレ等フラットである。 廊下左右に手すりがあり、居室からリビングに伝って歩行可能		歩行器・車椅子等の台数が増え、歩行時の障害にならない様に常に見守る必要がある
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	得意な事、やりたい事を把握して毎日の生活の中で活かしていく		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	四季折々の野菜や花などを、玄関周りや庭に栽培し、水遣りや植え替え等を楽しんでいる		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="checkbox"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/>	①毎日ある
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="checkbox"/>	③たまにある
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="checkbox"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="checkbox"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/>	③たまに
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・埋念にある、その人らしい生活の応援に重点をおき、生きがいややりがいを持って生き生きとして生活できるホーム

一人ひとりの個性を大切にするホーム

・地域に密着した生活の援助を考える。

地域の方々から信頼されるホーム作りを考える。

地域の催しへの参加や近所の商店での買物や散歩を通して地域の方々となじみの関係を作り、気軽に立ち寄っていただけるホームにしたい。